

おとなも子どもも、
こんな学校に
行きたかった！

監督：オオタ ヴィン

「いただきます」シリーズ

ナレーション
吉岡秀隆

エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ

夢みる小学校

「自分のままでいいんだよ」

ありのままの自分でいられる、子どもファーストな学校とは？

わくわくがとまらない 希望あふれる”ミライの教育ドキュメンタリー”

出演：堀 真一郎、茂木 健一郎、尾木 直樹、辻 信一、高橋 源一郎 ほか

文部科学省選定

家庭向き 令和3年12月20日

令和5年12月10日(日) 上映会・シンポジウム

ライトキューブ宇都宮 3階中ホール 宇都宮市宮みらい1-20 13:00 開場 13:30 開演

参加費：無料 定員：300名 お申込み：お電話又はPeatixよりお申込ください →



お申込み・問い合わせ先：一般社団法人宇都宮市医師会事務局 ☎028-622-5255



「学校」はこんなに楽しい場所でした。

激動のAI時代に対応するため、2020年度から学習指導要領が、「アクティブラーニング(探求学習)」に大きく舵を切り、日本の公教育が揺れています。30年前から「体験学習」を実践している先進的な学校があります。宿題がない、テストがない、「先生」がない、「きのくに子どもの村学園」です。この学校のスローガンは、「まず子どもをしあわせにしよう。すべてはそのあとに続く」。60年以上成績通知表がない「総合学習」を続ける伊那市立伊那小学校。校則ゼロ、定期テストをやめた、世田谷区立桜丘中学校の西郷孝彦前校長。本作には、子どもファーストな3つの学校が登場します。

ナレーションは、ドラマ「北の国から」の名優 吉岡秀隆。エンディングテーマは、ザ・ブルーハーツの「夢」。全国1000箇所上映された映画「いただきます」オオタヴィン監督が「教育」をテーマにエモーショナルな映像で描きます。わくわくするシーンの連続、童心に帰ったような初々しい感動。「ミライの教育」を探る 感涙のドキュメンタリーです。

予告編見てね!



小学生が作ったよ!



ナレーション
吉岡秀隆



エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ



映画出演者コメント

子どもも楽しい、教師も楽しい。体験学習を楽しみながら「考えるチカラ」が身につくのです。

体験学習は、前頭葉を発達させ、非認知能力を高め、しなやかな脳のネットワークを作ります。

この映画は、「教育の本質」をみせてくれます。「子どもファーストの学校」の姿を、みてください。

意味のない校則は子どもの考える力を奪うので無くしました。公立学校も、実は、かなり自由なんだよね。



堀 真一郎

(きのくに子どもの村学園学長)



茂木 健一郎

(脳科学者)



尾木 直樹

(教育評論家)



西郷 孝彦

(世田谷区立桜丘中学校 元校長)

あなたの町でも「夢みる小学校」を上映しませんか？お申し込みは、まほろばスタジオ▶



映画「夢みる小学校」上映会・シンポジウム

★日時：2023年12月10日(日) 13:00 開場 13:30 映画上映 15:10 シンポジウム

【ゲストシンポジスト】 (一社)ペダゴージャパン 代表理事 工藤 敬子 氏
NPO 法人キーデザイン 代表理事 土橋 優平 氏
宇都宮市子ども子ども政策課 課長 西山 浩一 氏

【ファシリテーター】 (一社)宇都宮市医師会 理事 村井 邦彦

共催 / (一社)宇都宮市医師会・(一社)ペダゴージャパン・NPO 法人キーデザイン

後援 / 宇都宮市・宇都宮市教育委員会・下野新聞社・宇都宮コミュニティ FM ミヤラジ・NPO 法人サロンみんなの保健室